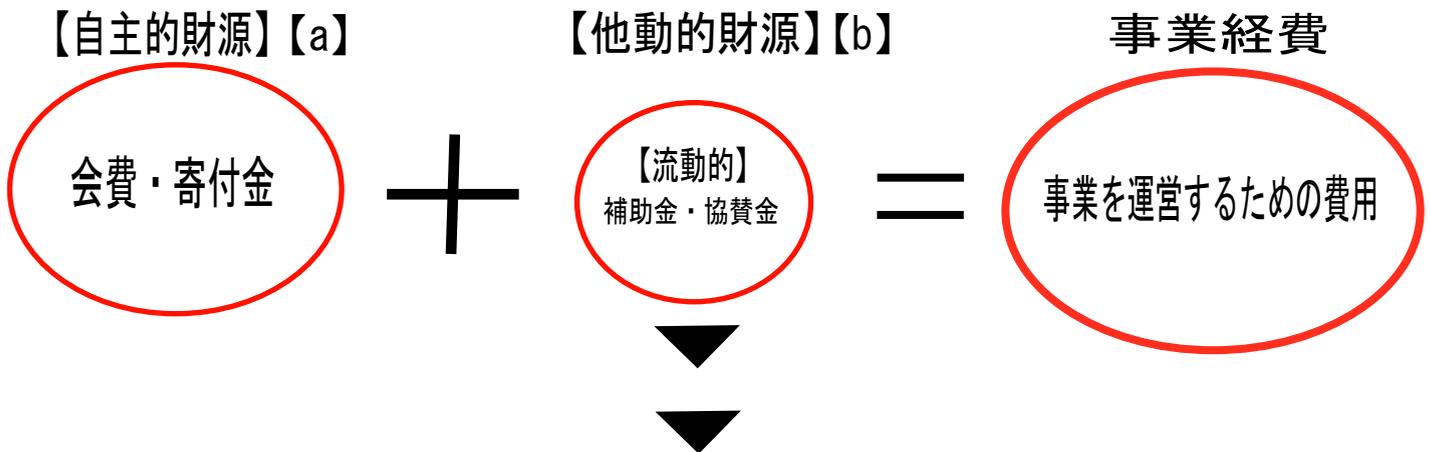


Do-itの自主事業の資金調達

Do-itの自主事業は子育てサポートや障害者サポート、入場料無料のダンスイベントの主催です。

《イベント開催に関する費用を例えると》

出演者交通費、謝金、講師料、フライヤー、保険、著作権費等々その他諸経費で1回あたりの実施に多い時で10万以上必要なイベントもあります。Do-itの主催・協働イベントは①多くの人に出演してもらい②多くの人に観てもらい③多くの感動を与えることをNPO事業の目的としていますので単なる発表会的なものではなくショーとしても楽しめるイベントをコンセプトとし原則は出演料・入場料は無料にしています。通常は財団や公共団体の補助金などが大きな資金源になりますがここ数年続く地方財政の破綻や最近の景気悪化により民間企業からの寄付なども含め第三者からの資金調達は相当難しくなっています。また、ストリートダンスはマイノリティでありまちづくりといっても資金支援まで繋がることは実のところ困難です。



通常の市民団体やNPO法人であれば【a】：【b】の割合が【3】：【7】とされています。Do-itの場合、【b】はここ数年0円ですので会費・寄付金のみの資金調達となっています。【a】のうち

- 【会費】・・・会費は会員で事業費用を予め積み立てしているイメージです。
- 【寄付金】・・・企業等寄付を募っていますがこれまでの実績はありません。会費以外で会員が自腹を裂いているのが現状です。

《事業実施のスキム》

- ・会員会費・・・会員から集める会費です。会費の大小はありますがどんな団体やグループでも会費制をとるところは多いです。一方NPO法人は会員からの会費は少なめで賛助会員制度などで個人や企業スポンサーを募っているケースが多くあります。
- ・寄付金・・・個人・グループ・企業からの寄付金です。Do-itの場合、事業費が足りなくなると実質スタッフが個人で寄付しています。これは本来の寄付ではなく単なる個人的な持ち出しと言えます。
- ・補助金・・・行政や民間財団からの補助金です。年度によってあったりなかったりして流動的です。

Do-itの場合、ダンスを媒体とした子育て、障害者支援、まちづくりが大きな目的でその目的は非常に喫緊の地域課題と言えますが上記の通り資金調達については会社の同僚や近所の仲良し家族が集まって旅行するために積み立てをしているような自己投資型の資金調達によります。大きく違うのは旅行に行く対象は積み立てをしている当事者ですがDo-itで積み立てたお金で実施する事業対象を地域住民としてその資金をすべて地域活動（NPO活動）に充当している点です。ただし、実はこれは負担が大きすぎるため旅行などの一過性の行楽には向いていますが継続的なボランティア活動には適していません。

そこで今後は資金面でのサポートを広く企業や地域へ求めていくメニューを考えていく予定です。